



# やまな

周南たちばな学園 山名小学校  
学校だより No.15  
令和2年12月8日発行

12月2日(水)に持久走大会を実施しました。どの子も自分の目標に向かって精一杯走り切ることができました。保護者の皆様の励ましや応援のおかげです。ありがとうございました。

2学期も残り3週間程となりました。各学年に応じて、生活や学習のまとめをしていきます。引き続き、御理解・御協力をお願いいたします。



## 〈音楽鑑賞会〉

11月24日(火)に月見の里オーケストラの方の演奏を聴きました。感染症予防のため、2学年ずつ行いました。子どもたちから「コロナウイルスが流行していて生演奏を聴くことができないと思っていたのでうれしかったです。」や「コロナの関係で楽器の数が制限されていたけれど、すごい迫力で眠気が吹っ飛びました。」等の感想がありました。「鬼滅の刃」から「くるみ割り人形」まで様々な曲を演奏していただきました。『音楽』の素晴らしさや面白さを実感することができた、とても幸せなひとときでした。



## 〈地域で取り組む漢字検定について〉

11月中旬に漢字検定についての便りを配付しました。この検定は、「地域全体で取り組む漢字検定!」として、周南たちばな学園が全国のモデル地区になっています。令和3年1月30日(土)に周南中学校にて行われます。子どもだけでなく、どなたでも受検可能です。ぜひ、お子さんと一緒にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。12月14日(月)までに、検定料を添えて学校事務室、または山名コミュニティーセンターまでお申し込みください。

## 〈交通ルールを守って〉

地域にお住まいの方から登下校の歩き方やマナー、下校後の自転車の乗り方等について御心配いただくことがあり、その都度指導を繰り返してきました。

先日も全校放送や各学級にて、「歩道を広がらないで歩くこと」「左右の確認をして横断すること」「自転車に乗るときはヘルメットを着用すること」等を指導しました。命に関わる事故につながることもありますので、御家庭でも交通ルールをしっかりと守るよう声掛けをお願いいたします。

## 〈いつでも相談を〉

「子どもに注意ばかりしてしまう。どんな声掛けをしたらいいかな。」「読み書きが苦手で、授業中苦労しているようだ。どうしてあげるといいのかな。」等と、お子さんのことで心配になることや迷ったり、不安になったりすることはありませんか。学級担任だけでなく、コーディネーターに相談することができます。コーディネーターは、鈴木靖弘(生徒指導主任)、中村純子(養護教諭)、稲葉雅章(特別支援学級主任)、鈴木亜弓(特別支援学級副主任)の4人です。御家庭だけで悩まずに、ぜひ、学校に相談してください。また、学校だより「やまな」で、コーディネーターが子どもへの接し方のヒントになるような情報も紹介していきます。

## 〈転出する場合は早めにお知らせください〉

次年度、転出する可能性がある場合も含め、早めに学級担任に連絡をお願いいたします。